



9月度の講話会は、オカルト界の重鎮にして神道霊学の第一人者である武田崇元先生による問題提起プログラムです。近代神道の問題点を民俗的公共空間としての神社に対する国家的公共性の侵犯と捉え、戦前は国家神道に対する批判者であった葦津珍彦氏が、戦後は柳田國男、折口信夫とのバトルを経て国家神道イデオロギーに回帰した。それが神社本庁の思想的基盤となったことを武田先生は鋭く批判します。神社界には葦津珍彦氏を熱烈に支持される方も多くおられ、賛否両論あることを前提にあえてお届けするテーマです。武田先生も反論、討論大歓迎とのことです。どうぞお越しを！（奈良 泰秀）

◆「神社本庁イデオロギー批判」◆



講演：武田 崇元 氏

（八幡書店 社主、神道霊学 研究家）

◆ 司会・講演：奈良 泰秀

（神職、NPO法人「につぼん文明研究所」代表）



（たけだ すげん）東大法卒。伝説的オカルト評論誌『復刊地球ロマン』（1976～1977）の編集長を経て、学研『ムー』の創刊に顧問として参画。神道霊学書籍の発掘を目的とする八幡書店を昭和56年（1981）に創立。昭和58年（1983）には『出口仁三郎の霊界からの警告』（光文社）がベストセラーになるなど80年代のオカルトブームに決定的な影響を与えた。さらに立体録音ホロフォニクスの紹介やブレインマシン開発などで当時の対抗文化全般に大きなインパクトを与えた。最近『子午線 原理・形態・批評』VOL5（2017）に掲載のロングインタビューや、高橋 洋監督の映画『霊的ポリシェヴィッキ』のタイトルの生みの親であることで再び注目を集めている。

- 日時：平成30年 9月29日（土）2:00p.m～5:00p.m（1:00p.m 開場）
- 会場：高円寺 氷川神社（〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-44-19 高円寺駅南口2分）
- 入場料：一般：¥2,000円。学生・古神道講座受講生：¥1,500円（要予約）

“ニッポン・スピリチュアルの世界” 講話会（9月度）参加申込み（Fax送信用）

* 下記にご記入の上、ファックスかメール、電話でご連絡ください。（担当：事務局・藤田）

Fax：送信先 045-491-7461 e-mail：info@nippon-bunmei.jp Tel：045-481-9361

【* 締切り＝30年9月26日（水）* 定員になり次第 締切ります】



ご芳名： _____（ _____ 歳）

ご住所： _____

お電話： _____

ご職業： _____

* 入場料：当日お支払いです。ご予約後のキャンセルはしないでください。

